

北から南から

第23回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催される

平成26年10月23、24日に岩手県盛岡市のいわて県民情報交流センター「アイーナ」および盛岡地域交流センター「マリオス」にて、「第23回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」(PC工学会主催・PC建協後援)が開催されました。2日間で講演者や技術展示参加者、一般参加者等を合わせて600名余(昨年に比べ約100名増)が来場し、特別講演会をはじめ4つのセッション会場で155編の一般講演が行われました。

PC建協のブースでは、東北地方のPCの主要事業として7橋のパネルと人工地盤模型の展示が行われました。

23日にホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて開催された懇親会には、総勢約500名が出席しました。



ブース出展

大規模更新工事の第一弾の全貌が明らかに

首都高速道路(株)は、平成26年12月1日に高速1号羽田線(東品川橋・鮫洲埋立部)の更新工事について、契約手続の参加希望者を対象に基本的な工事条件や契約手続の案を

くらしと技術の建設フェア四国2014が開催される

全国各地で色々な建設フェアが開催されているなか、平成26年10月10日、11日の2日間にわたり、香川県高松市サンポート高松他に建設フェアが開催されました。

開催目的は新工法などの建設技術や研究成果等について、産・学・官が共有するとともに、市民に向けて発信し、くらしと建設技術の深い関わりをPRすることです。

主催は四国建設広報協議会(※1)、特別共催・共催(※2)の各団体。四国では2年ぶりに開催され、天候にも恵まれ6800人が来場しました。

PC建協ブースでは、パネル展示と橋梁点検ロボットカメラの説明、PC板の体験が行われました。

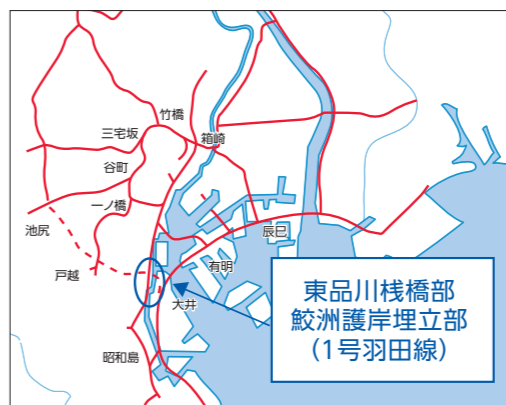
今回、初めてブースコンテストが行われ、「注目技術賞」「優秀賞」に「橋梁点検ロボットカメラ」が選ばれました。



講義風景

- ※1 四国建設広報協議会・四国地整をはじめ四国4県、コンサルタンツ協会、NEXCO四国支社、PC建協四国支部などの25団体で構成
- ※2 特別共催・土木学会 共催・高松市、四国運輸局、四国内の大学・高専など16団体

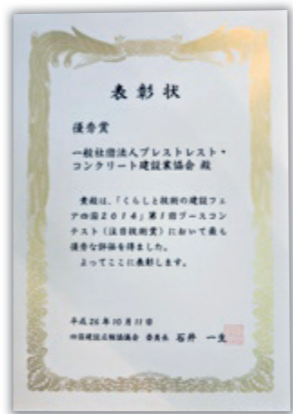
公表しました(国土交通大臣は11月20日付で事業の実施を道路整備特別措置法に基づき許可)。
当工事は、限られた施工ヤード内で高速道路の通行止め等を可能な限り回避しながら、早期に更新する非常に難度の高い工事で、民間企業の高度な技術力・ノウハウを活用することが不可欠であると考えられています。



公表箇所

神奈川県で「スキルアップ研修」が開催される

平成26年11月21日に神奈川県足柄上合同庁舎で、「スキルアップ研修」が開催されました。参加者は県の技術職員28名で、PC建協関東支部技術部会から講師を派遣しま



「注目技術賞」優秀賞



PC板体験の様子

した。
午前中は庁舎大会議室にて、コンクリート橋の概要、点検ポイント、補修・補強事例、足柄大橋の構造概要について講義が行われました。
午後からは足柄大橋の現地に移動して模擬点検講習が実施され、桁下や橋面を目視しながら実際に点検ポイントが説明されました。
最後に庁舎大会議室に戻り、点検ポイントの復習を3択問題形式で行い、講習が終了しました。



足柄大橋の現地に

設計技術者のためのリカレント教育講座が開催される

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部で、平成26年10月17日に設計技術者のためのリカレント教育講座が開催されました。

本講座は、実務経験10年程度の技術者を対象に、人材のスキルアップ・育成を目的としたもので、PC建協等から講師を派遣し行われました。



講座風景